

自然、まち、歴史・文化の調和した愛着と誇りのもてる景観をめざして

第5回太田市景観賞

表彰式・景観講演会

日時：平成28年1月26日（火）午後2時00分～
会場：おおたテクノプラザ 研修室

本市は、平成19年9月1日に景観法に基づく景観行政団体となり、太田市景観計画や太田市景観条例、太田市屋外広告物条例を定め、市の良好な景観づくりを推進しています。

そこで、景観の保全・形成に対する市民意識の向上を図るため、市の景観づくりに大きく貢献した市民、事業者及び団体等を「太田市景観賞」として表彰しています。

第5回目の本年度は、全部で11件の応募をいただきました。応募された皆様に敬意を表し、感謝申し上げます。

美しい街並み形成や地域の各種景観活動は、まちづくりの目標です。建物と周囲の自然が織りなす景観、地域活動による美しい街並みの維持は大切な資産であり、地域コミュニティの一体化、活性化に寄与するものです。表彰される3件はどれもその配慮が感じられ、それぞれの地域の景観形成に貢献してくれるものと期待しています。

太田市景観賞の実施にあたりご協力くださいました多くの市民の皆様にご感謝申し上げます。御礼のあいさつといたします。



太田市長

清水聖義

【審査】太田市景観審議会表彰等評価部会

大賞：細谷・西新町いずみ会
『健康の道』づくり推進事業



(細谷町)

入賞：吉野 芳郎
「あさがおの咲く小径」



(大原町)

入賞：栽花建築設計事務所 針谷 賢
「養蚕農家のリノベーション/高林の家」



(高林南町)

【講評】 太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

今年で5回目を迎えた太田市景観賞には合計11件の応募をいただき、現地審査を行いました。いずれも、地域の良好な景観形成、保全に貢献する取り組みでありました。色彩や造形への工夫、周囲の景観との調和、そして良好な景観が保全されており今後も維持されること、あるいは地域に景観保全活動を促し広く発信していることなどを評価の基準として、現地を訪れ確認したところ、どの案件も活動されている方々の地道なご苦労と熱意が伝わってくるものでした。審議会委員14名の採点結果を集計し、審議の結果、3件の表彰を決定いたしました。

『健康の道』づくり推進事業は、団体として広い場所を四季を通して管理され、今後も長く続けて頂きたい活動です。「あさがおの咲く小径」は、最盛期だけではなく年間を通じた手入れにより、個人として大いに公共景観に寄与していることが評価されました。

「養蚕農家のリノベーション/高林の家」は、あえて古い建物の素材を生かし、小規模ながら古民家の改修事例として評価されました。

今後も太田市の景観保全への取り組みとして、手引きとなる役割を担われる事を心より願っております。また、今後とも、景観との調和を図る建築や古い建物の外観の維持、景色や景観保全の活動など、数多くの取り組みを期待しております。

第5回太田市景観賞 表彰式・景観講演会

■ 14時00分 表彰式

挨拶：主催者挨拶 太田市長 清水 聖義

来賓挨拶 太田市議会議長 大川 陽一

表彰：大賞 「健康の道」づくり推進事業
(細谷・西新町いずみ会)

入賞 あさがおの咲く小径
(吉野 芳郎)

入賞 養蚕農家のリノベーション/高林の家
(栽花建築設計事務所 針谷 賢)

講評：太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

■ 14時30分 講演会

演題：「生きている建築と都市」

講師：建築家・京都大学准教授

平田 晃久 氏

講師紹介

【略歴】

一級建築士。1971年大阪府生まれ。京都大学工学部建築学科卒業後、同大学院工学研究科修了。伊東豊雄建築設計事務所を経て、2005年平田晃久建築設計事務所を設立。2015年京都大学准教授就任。

【主な受賞歴】

- 2015 LANXESS カラーコンクリートアワード受賞 (alp)
- 2014 グッドデザイン賞 (kotoriku)
- 2012 第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 金獅子賞 (共同設計)
釜石市天神町復興公営住宅+こども園プロポーザル 最優秀賞

【主な作品】

- 2015 かまいしこども園/こども園、岩手
- 2014 kotoriku/集合住宅、東京
- 2010 alp /集合住宅、東京
- 2006 枳屋本店/ショールーム、新潟



主催：太田市
後援：群馬県都市計画協会
後援：関東都市美協議会